

牛にも人にもより良い環境で パートⅡ

～ストレス軽減に向けた私たちの取り組み～

鹿児島県立鶴翔高等学校

今までもハエの駆除対策を行ってきた。今回は昨年の結果をふまえて、灯籠には色紙を貼り色別によるハエの捕獲の比較調査、加え、環境改善の臭い対策も行うことにした。

灯籠は従来のものに改良を加え、牛の体温と同程度の温度になるようにし、調査ごとの条件の誤差が少なくなるよう同時に検証できるようにし、粘着剤を吹き付けた色の画用紙を貼り付け、牛舎に設置して実験を行った。結果、ハエ捕獲における色の差異はあまり感じられなかった。しかし、薄手の色は光を通すためブトなど他の害虫も多く捕獲でき、またハエの捕獲時期による効果がみられたので今後の活用をしていきたい。

また、におい対策については今回、アンモニアに着目して測定をした、農家さんに納豆菌を散布すると臭いが軽減すると聞き試してみた。比較対象として条件に近い近隣農家さんに協力を仰いだ。その結果、若干だが納豆菌を散布した効果が認められ、床替えの回数が減り、経費の軽減や労働時間の軽減につなげることができた。

このように牛にも人にもより良い環境作りでよりよい牛作りを続けていきたい。